

平成30年度事業報告

平成29年11月1日～平成30年10月31日

一般財団法人 CHANGアジアの子供財団

事業報告書

1. 概況

二年程前から計画していたカンボジアの伝統サンドウィッチの店、ヌンパン屋をオープンすることができました。ここで CHANG すくーの孤児院や、サポートしている語学学校の卒業生が、職業訓練として働くことができるようになりました。今までのように「お金は誰かが支援してくれる」という感覚ではなく、20才からは自分の力で収入を得て、更に手に職を付け、将来の自立に向かわなければなりません。同時に、ヌンパン屋の売上げは CHANG スクール、主に孤児院の運営費に廻す方針で運営することになりました。

そして大きな変化として、カンボジア政府の方針により孤児院の子供の中で親や親族がいる子は、次々と身内の元に強制的に返されてしまうようになりました。カンボジア政府としては、“貧困”という国のイメージを変えたいのかもしれませんが、もともと身内では育てられないから孤児院で暮らしていた子供もいますから、そこに帰すのはとても心配があります。しかし政府の方針は強いもので、何度も話し合いをしましたが、子供たちを戻すことは不可能でした。

更に現在の場所は安全面や衛生面でも問題も多く、移転しなければ解散せざるを得ない指導もされました。そこで新しい家を探し、2019年の3月までに移転することも決まりました。

そのような状況の中、6月に孤児院の現地代表だったソカーママが急逝しました。本当に突然のことでしたが、今後は CHANG の代表が会長、そしてママに代わってヒエップパパが現地代表となり孤児院を運営していくことになりました。

また CHANG スクール以外でも、カンボジア、タイ、ベトナム、ラオスの孤児院やスラムを定期的に訪問し、物資や寄付金を届ける活動を継続しております。特に協力団体である、タイの子供財団が運営する施設では、協働で発達障害を持つ子供の知育教育に力を入れており、私たちは主に教材の提供を担っております。

2. 成果

ヌンパン屋ができたことにより、孤児院と語学学校の卒業生がここで働き収入を得ることができるようになりました。ここで働く青年たちは主に現在は日本語学校に通っています。今まではその交通費や諸費用は私たちがサポートしてましたが、パン屋開業以降は自分たちで働いた収入からそれらの経費を捻出するようになり、自ら働き、収入を得て、生活をすよう、私たちが目標としている“自立”に大きく近づいた成果を感じております。

政府の方針で孤児院の子ども達が減っている問題に関して、政府とも何度も話し合いをしました。政府の回答としては、結果として「戻すことはできない」のですが、よくよく話をしてみると、政府もただ強制的に帰したのではありませんでした。帰した子ども達の健康、教育、虐待を受けてないかなど、基本的に毎月チェックをしに各自の家まで訪問してくれていることが分かりました、また「孤児院で育てなくても支援できる方法はあるでしょう。私たちと一緒にいつでも子ども達に会いに行きましょう」と、今後の連携も約束してくれました。そして実際に返した子ども達の様子を写真で見せてくれて、また住所や連絡先も教えてくれたことから、数名の子には会うこともできました。こうした政府との良い関係が築けたことは今後の運営においても大きな成果であったと捉えております。

協力団体であるタイの子供財団と協働で行っている知育教育が、先生からも子ども達からも好評で、タイだけでなく日本や他国からも教育者が研修に訪れるようにもなりました。こうした成果を機に同財団の敷地内にある教室を「CHANG 知育教室」にして下さるお話をいただくことができました。この教室が実現すればカンボジアの CHANG スクールに次ぐ、タイの大きな拠点となります。

3. 海外での公益活動実施状況

どの場所でも、基本的な活動として、寄付金、食材、生活用品、勉強用具、運動用具などを提供しています。以下の「基本内容の実施」にはそれらが含まれております。

CHANG スクールとは、バサック孤児院、バサック幼稚園、チルドレンブリッジ語学学校、アンドンバイ村コミュニティ、ヌンパン屋が含まれます。

日程	訪問国	場所	活動内容	子供の数	参加人数
12月11日～	カンボジア	ヌンパン屋	ヌンパン屋のオープン準備から、オープニング。プレオープン日には孤児院の子ども達を全員招待。	42	2
12月17日～	カンボジア	CHANG スクール	新たにビントゥン村に幼稚園を建設する計画	37	2
1月29日～	カンボジア	ヌンパン屋	店舗の加えて、屋台を出すため場所探し	5	2
1月30日	カンボジア	内務省と会議	孤児院の安全・衛生問題について		2
3月21日～	ベトナム	マイアムデツェン	基本内容の実施	125	3
3月21日～	ベトナム	テレサファッシュ	基本内容の提供 ハーモニカ、ギター等の提供	71	3
3月24日～	カンボジア	ヌンパン屋	運営状況の確認	5	3
3月25日～	カンボジア	ビントゥン村	新しい幼稚園の場所視察	30	3
3月26日～	カンボジア	CHANG スクール	基本内容の実施	37	4
3月28日～	カンボジア	SCADP 孤児院	基本内容の実施	30	4
3月28日～	カンボジア	パークンスラム	ランドセル配布の打合せ	65	4
3月28日～	カンボジア	ロルウスラム	ランドセル配布の打合せ	48	4
3月30日～	タイ	タイの子供財団	知育教室の運営確認	110	4
6月22日～	カンボジア	ママの通夜～葬儀	通夜葬儀を厳粛に行い、今後のことをミーティング	37	2
6月28日～	ラオス	ワットシーアンボンスクール	基本内容の実施	60	2

8月6日～	タイ	ローレンゾウホーム	基本内容の実施	30	2
9月15日～	カンボジア	ヌンパン屋	運営状況の確認	90	2
9月17日～	カンボジア	社会福祉省と会議	スタッフ一同と村長も参加		3
9月22日～	タイ	タイの子供財団	知育教室の運営確認	110	3

4. 出版・広報

送付日	名称	主な内容
2月	季刊誌CHANG春号	ヌンパン屋、オープン！
7月	季刊誌CHANG夏号	盲目の少年が文字を認識
11月	季刊誌CHANG夏号	CHANG スクール、ソカーママの追悼

5. 協力団体等

団体名	協力内容
タイ国 子供財団 (Foundation for Children)	知育教育の研究と推進
公益財団法人 日本バレーボール協会	バレーボールの寄付
NPO 法人 日本救援衣料センター	衣類の寄付
ゼビオ㈱	スポーツ用品の提供
タイ国 タマサート大学 日本人留学生 (有志)	街頭募金・海外活動への参加
一般社団法人 医療みらい創生機構	カンボジア関連、異業種交流
国際社会推進会ワールドギフト	生活用品、教材など物資の提供
NPO 法人もったいないジャパン	生活用品、教材など物資の提供
NPO法人イーパーツ	中古パソコンの提供
平林印刷㈱	文房具の提供
G o o d o ㈱	社会貢献プラットフォーム「godo」への掲載
ソフトバンク㈱	募金サイト「かざして募金」への掲載
NORTH CREATE	古本募金「ハピぼん」への掲載
㈱ディ・エフ・エフ	募金サイト「sumabo」への掲載
㈱ラッシュジャパン	助成金の受給
公益財団法人 埼玉国際交流協会	助成金の受給

(株)ブギ	古本チャリティ募金
その他、マンスリー会員企業	月会費

6. 評議員・役員に関する事項

役職名	氏名
評議員	柗澤 玄樹
評議員	木村 孝禅
評議員	佐久間 茂
会長	齋藤 浩司
理事長	後藤 範泰
副理事長	松田 龍一
理事	塚田 昭平
監事	齋藤 尚久

7. 総括

今年度の最も喜ばしいことは職業訓練施設でもあるヌンパン屋がオープンしたことです。しかし CHANG スクールのソカママが急逝するという、とても悲しい事もありました。今まで何十年も現地代表として運営のリードし、子ども達を育てていたママがいなくなったことに誰もが大きな不安があります。しかし、今後は現地代表になったヒエップパパをしっかりと支え、そして私たちも今まで以上に責任を持って運営にあたること、これが第一であると考えております。

そして同時に孤児院から出されしまった子ども達を個別に訪問しケアを続けること、更に孤児院の移転も実現させないと最悪は解散となってしまいます。これらを念頭に次年度は活動をして参ります。

他施設においては、タイの子供財団が運営する施設内に、私たちのタイの拠点として知育教室を開くこと。そして他の施設やスラムの子ども達へも今まで同様のサポートを継続していく方針です。

8. 写真で見る今年度の活動

ホームページ、Facebook を毎週更新しておりますので、ご確認ください。

以上